

# スポーツ推進委員協議会だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会

## 〈新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業・研修がほとんど中止となりました〉

国内で新型コロナウイルスへの感染が確認されたのは、令和2年1月15日でした。2月3日には、乗客の感染が確認されたクルーズ船が横浜港に入港。徐々に感染が拡大し、4月7日に7都道府県に第1回目の緊急事態宣言が発令されました。このような危機的状況の中、宮崎でも感染者の増加に伴い、今年の1月9日から2月7日、県独自の緊急事態宣言が発令され、県や市、各地域でのすべての行事が中止、延期を余儀なくされました。

推進委員協議会でも、班員や部会、事務局等で綿密な計画をしていた事業、研修等のほとんどが中止となり、スポーツ、レクリエーションを通じた健康増進や地域コミュニティの場が失われ、困惑の1年でした。このような状況の中でも実行できた、いくつかの事業等を報告いたします。

### 第7回 一斉ラジオ体操会 8月1日(土)他 10地区が実施 市内小学校及び中学校、公園等



夏本番ではあるが、清々しい爽やかな早朝、親子連れを中心に、楯小学校運動場に約35名の参加があった。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、案内のみで参加要請は控え、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの徹底をお願いした。また、消毒の実施、参加者の氏名、連絡先の確認を行った。

例年の1/3～1/4の参加人数ではあったが、夏休みを規則正しく過ごしているか、生活態度を見直す一助になったのではないかとと思う。

開催にあたっては、感染が拡大してきた時期だったので、学校側と何度か打ち合わせを行った。多くの自治体が中止する中、開催を決断し協力して頂いた学校関係者に御礼と感謝を申し上げます。(本部)

### 第23回 地区対抗ミニバレーボール大会 11月22日(日) 宮崎市総合体育館



当初の計画では8月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により、各地区での予選会開催が難しく、11月に変更となり開催されました。「体調チェックリスト」、連絡先等記入し、感染予防対策を万全に整えた上で、250名の参加者がミニバレーボールを通して親睦を深めることができました。

#### 【田中班长談】

昨年今年と未曾有の事態の中、参加していただいた皆様のおかげで、今回のミニバレーボール大会を行うことができました。本当にありがとうございました。

徹底したウイルス対策を思案しても、実際に行動に移さないと意味はありません。しかしながら、大会をより良いものにしようとする参加者の意思と行動が、大会の成功とこの大会における感染拡大予防に繋がったのではないかと思います。

このウイルスに限らず、既存のウイルスや新たな脅威に関しても、この大会の成功の経緯や行動が、今後の道しるべになりうるのではないかと思います。ご協力ありがとうございました。

#### 【各部門優勝チーム】

- 平均年齢39歳以下 男子  
優勝 瓜生野 (瓜生野)  
準優勝 大坪南 (大淀)
- 平均年齢39歳以下 女子  
優勝 花山手 (大淀)  
準優勝 高岡5区 (高岡)
- 平均年齢40歳以上 男子  
優勝 本郷 (本郷)  
準優勝 下北方町南区 (大宮)
- 平均年齢40歳以上 女子  
優勝 北花ヶ島 (東大宮)  
準優勝 四本松A (住吉)
- 平均年齢60歳以上  
優勝 本郷 (本郷)  
準優勝 北部 (住吉)
- ★参加者数 250名
- ★参加チーム数 47チーム

☆おめでとうございます!



コロナ禍で各種研修会等の中止が相次いだ本年度。久々に皆で集まれる状況となりました。

始めに、表彰式が行われ、スポ推活動に尽力された3名の方が表彰されました。(下記参照)次に、会長から「和気あいあいとする場を作るのがスポ推の役割、頑張ってください」と挨拶がありました。

その後、「その言葉が未来を創る」と題して、日本ペップトーク普及協会の遠坂有太郎氏をの講演がありました。ペップトークとは、元気・活気・勇気を与えるトーク術のことで、選手、生徒、部下などを励ますのに、監督やコーチなど指導者が試合前(本番前)に使う「激励のショートスピーチ」のことです。そして、誰かの夢の実現や目標の達成を本気で応援するサポーターのことをドリームサポーターといい、子どもにとっては親、生徒にとっては先生、選手にとっては監督やコーチなど。また、スタッフに限らず応援団や関係者そして家族もドリームサポーターです。私たちスポ推も、ですね。

大事なことは、「成功を願う。話を聞いてあげる。ポジティブな声掛けをする。夢の応援をする。」ことです。そして“なんでできないか”ではなく“どうしたらできるか”を考えることです。そして、才能を伸ばす“さ・し・す・せ・そ”を教えてくださいました。さすが しんらいしてる すごいね(すばらしいね) “せいこうをいのる そうだね、いいね”言葉が変われば、行動が変わる。行動が変われば、運命が変わる。今日から私たちもペップトークで未来を創っていきましょう。(長友)



## ☆ 文部科学大臣表彰

## 新濱 眞澄さん



山本会長と一緒に。

講習会や研修会で出会った方との交流がきっかけで、地域婦人部の健康教室講師を現在も2ヶ所、25年の長きに渡り取り組んでいます。

いつも笑顔を忘れずに、威張らず、奢らず接し、基本に捕らわれることなく、できる範囲でスポーツを楽しむこと。仲間と交流を図りながら、思いやりのあるグループ作りをすることが、継続につながると思います。

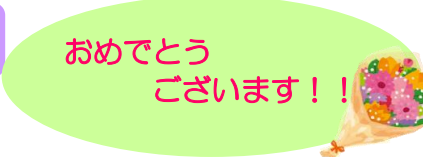
子どもから高齢者まで、誰もが安心・安全で楽しくスポーツができる環境と場所を確保しみんなで楽しく活動する中で、次世代のリーダーとサポーターを見出ししていくことも、私の使命だと思っています。まだまだ余力は残っていますので、これからも自分の健康維持のため、また、次世代の人材育成のため、頑張っていきたいと思っています。

## ●全国スポーツ推進委員連合30年勤続表彰 甲斐 勝博さん

この度、30年の活動に対して感謝状をいただきありがとうございます。25歳の時、日南市で体育指導員を委嘱され、市民の健康維持を目的としたレクリエーションを企画運営し、レクダンスやレクゲームを楽しんだのが始まりです。

その後、宮崎市に移り、36歳から体育指導委員として生目台地区の様々な体育行事をサポート運営しています。地域の人たちが、元気に楽しく活動に参加されている姿が励みになっています。また、行事前の実践講習会はとても役に立ち、自信をもって運営にあたることができましたので、是非これからも続けてほしいものです。第34回宮崎国体では、柔道の競技役員として携わり、貴重な経験ができました。また、推進委員としての知識を高めようと、春高バレーボール大会や箱根駅伝の観戦にも行きました。

現在は、ハンドボール少年団の指導にあたり九州大会・全国大会に出場できました。長きにわたり、健康で推進委員の活動ができたことに感謝し、これからも頑張っていきます。



末吉さん 新濱さん 甲斐さん

## ●九州地区スポーツ推進委員功労者表彰 末吉 みどりさん

私がスポーツ推進委員を続けてこれたのは、先輩方に恵まれたことです。研究大会や研修会に参加し、多くの人に出会えたことも大きいです。そして、家族の理解と協力です。

地域の方々との交流や仲間づくりの場所としてスポーツ教室の運営をしています。会員の方々の笑顔や「ここに来るのが楽しみ」という声に継続への思いを強くしています。微力ですが、交流を深めスポーツ推進委員の活動を頑張りたいと思います。



### 広報部より

「新型コロナウイルス」の猛威が止まらず、ほとんどの事業、研修等が中止となりました。実施予定で準備をされていた事務局や班員の皆さん、ご苦勞様でした。令和3年度は、少しずつでもいいので地域での活動や、推進委員同士のコミュニケーションの場が持てることを願います。ご協力いただきました推進委員のみなさん、ありがとうございました。

広報スタッフ ～ 部長：山元美保(檉) 副部長 長友ひとみ(江平) 担当副会長：井上竜志(大淀) 本部伴典(檉) 栗原和幸(大宮) 児玉麻衣子(住吉) 前田明人(木花) 福田貴夫(清武)